

栃木県農業大学校 令和6年度学校評価 計画シート

目指す方向 魅力ある農大づくり ～農大の価値を高め、とちぎの農業を担う人材を育成する！～

重点目標	現状と課題	評価項目	具体的方策	取組項目		経過・達成実績	達成度	次年度の課題と改善方向	主担当
		評価指標		学部・塾	内容				
1 入学生の確保 (就農を目指す応募者の増加)	<p>(現状)</p> <p>○入学生はH23研究科廃止以降、平均64.6名であったが、R3いちご学科創設以降は平均73.25名と増加している。ただしR6は69名(入学辞退者4名)であった。</p> <p>○R5のオープンキャンパスは、生産学部が129名、経営学部(いちご学科)が36名、計165名となり参加者数目標の160名を上回った。</p> <p>○とちぎ農業未来塾では、受講希望者数や品目について経済状況に左右される傾向がある。</p> <p>(課題)</p> <p>●高校生対して、農業大学校の存在や特徴を認知してもらい、就農を目指す応募者の増加を図る必要がある。</p> <p>●「いちご学科」について、農業振興事務所や農業関係団体等との連携とともに、高校生・大学生、社会人、農業者等幅広い年代への積極的な広報活動等により、「いちご経営者」を目指す学生の確保を図る必要がある。</p> <p>●とちぎ農業未来塾の受講希望者や品目については、柔軟な受け入れ体制が必要である。</p>	<p>入学生 80名 (内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業生産学部 70名 ・農業経営学部(いちご学科) 10名 <p>とちぎ農業未来塾生 70名以上</p> <p>オープンキャンパス全体参加者数 160名以上</p>	(1)農業大学校の情報、魅力の発信	生産学部 経営学部	○オープンキャンパス(OC)等による農大の理解促進 ・参加者の農業理解度別とした農業高校OC(学生交流会重視)、一般高校等OC(実習重視)を実施 ・いちご学科は一般高校等OCの他、単独OCを実施 ・OCプログラム等の工夫(在校生の生の声を届ける/県立学校ならではの強みを伝える) ・HP・ポスター・チラシ等による適時適切なPR				学生課 企画情報部会
					○高校への出前授業・高大連携、JA等への農大PRの推進 ・学校説明会や出前授業等への積極的な参加			学生課 企画情報部会	
				生産学部 経営学部 未来塾	○農大の魅力発信の工夫	○HPの充実、県SNSの活用 ・各学部、学科等の情報の日常的学習風景を含めたきめ細かな発信			学生課 企画情報部会
						○マスメディアの活用 ・新聞・各種広報誌等への情報発信			
						○広報物によるPR ・キャンパスガイドや学生募集チラシ等の県内外高校等への速やかな配布			
						○学校生産物等によるPR ・農大祭、校外販売実習の実施			
経営学部 未来塾	○新規就農イベント等におけるPR ・新規就農相談会の紹介や新農業人フェア等への参加				いちご学科 未来塾担当				
生産学部 経営学部	○出願期間等の改善	○実施時期、出願期間等の随時見直し ・他の農業系大学の入試実施日を考慮			学生課				
		○合格者への情報提供 ・入学までの校内イベントや、県の就農相談等の情報提供							